

生涯学習課が所管する指定管理施設の管理運営に関する協定及び事業計画 資料一覧

【八ヶ岳荘】

令和7年度協定の主な見直し概要・・・・・・・・・・ P. 1

令和7年度事業計画概要・・・・・・・・・・ P. 3

【教育科学館】

令和7年度協定の主な見直し概要・・・・・・・・・・ P. 8

令和7年度事業計画概要・・・・・・・・・・ P. 10

【グリーンカレッジホール】

令和7年度協定の概要・・・・・・・・・・ P. 15

令和7年度事業計画概要・・・・・・・・・・ P. 17

【郷土芸能伝承館】

郷土芸能伝承館の管理運営に関する基本協定の概要・・・・・・・・ P. 22

令和7年度協定の主な見直し概要・・・・・・・・・・ P. 23

令和7年度事業計画概要・・・・・・・・・・ P. 25

八ヶ岳荘の管理運営に関する令和7年度協定の主な変更点

生涯学習課

○ 年度協定

- 1 第2条 協定期間
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
- 2 第5条 指定管理委託料
第2項 甲が乙に払う指定管理料は、金101,162,400円とする。
※昨年度比で255,450円増
(人件費単価の見直しによる増、昨年度実施した改修工事経費の減)
※詳細は事業計画概要の「2 令和7年度収支計画概要」参照
第4項 指定管理料のうち、「大型キャンパス TENT 購入」に要する経費である、
587,400円については購入後、余剰金が発生した場合は甲乙確認後、乙は甲
に返還するものとする。
- 3 その他 年度表記の更新

○ 管理運営業務水準書

- 1 (P.30) 【変更】
第3章第5節 21 施設設備交換・補修関係業務
(1) 大型キャンパス TENT 購入
- 2 (P.34) 【内容変更】
令和7年度 富士見高原移動教室日程
日程表(春季6校、秋季10校、冬季6校)
- 3 (P.35) 【内容変更】
令和7年度 青健野外活動日程
日程一覧(11地区)
※板橋、熊野、仲町、大谷口、常盤台、中台、蓮根、舟渡、前野、
下赤塚、徳丸
- 4 その他 文言整理

○ 収支計画書 【内容変更】

別紙2 令和7年度 収支計画書

(1) 収入

項 目	金 額	備 考
利用料金収入		
食事料金収入		
指定管理料	101,162,400 円	
合 計 額		

(2) 支出

項 目	金 額	備 考
人件費		
維持管理経費		
食材費		食事料金収入を財源とする
修繕・工事費	1,000,000 円	年度終了後清算
大型キャンパスメント購入	587,400 円	完了後清算
本社経費		
営業利益		
合 計 額		

令和7年度 八ヶ岳荘指定管理者事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 共同事業体名：八ヶ岳フィールドパートナーズ

(特定非営利活動法人国際自然大学校、株式会社東急コミュニティー、TSKサービス株式会社)

指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業計画概要

(1) 管理運営上の基本方針

【基本理念】

- ① 移動教室、青少年健全育成事業等の区主催事業において、子どもたちの自然体験や集団生活体験を全面的に支援することで、青少年の健全な育成に貢献する（重点化項目）。
- ② 施設の認知度と利用者の増加を図り、社会教育団体の活動拠点および一般区民等の健康増進および自然とのふれあいの場としての施設の価値向上をめざす。

【事業テーマ】

- ① 心ゆたかな児童・生徒の育成に寄与
- ② みんながまた来たくなる自然体験活動の実施
- ③ 安心できる指導者による支援

(2) 利用料金（消費税込） ※3歳以下は無料

(令和6年10月25日改正 ※令和7年4月1日以降の利用分から適用)

宿泊施設	在住・在勤・在学	区分	施設使用料 (1人1泊あたり)
しらかば棟・からまつ棟 研修棟（3階）	区内	大人（15歳以上）	2,800円
		こども （4歳～14歳）	1,000円
	区外	大人（15歳以上）	4,200円
		こども （4歳～14歳）	1,500円
野外宿泊施設 (キャンピング resort エリア キャンバステント)	区内	大人（15歳以上）	3,500円
		こども （4歳～14歳）	1,250円
	区外	大人（15歳以上）	5,250円
		こども （4歳～14歳）	1,875円

野外宿泊施設 (キャンプサイト)	区内	大人 (15 歳以上)	560 円
		こども (4 歳～14 歳)	200 円
	区外	大人 (15 歳以上)	840 円
		こども (4 歳～14 歳)	300 円
野外炊飯施設 (キャンピング resort エリア バーベキューデッキ)	区内	大人 (15 歳以上)	560 円
		こども (4 歳～14 歳)	200 円
	区外	大人 (15 歳以上)	840 円
		こども (4 歳～14 歳)	300 円
野外炊飯施設 (アウトドアキッチンエリア)	区内	大人 (15 歳以上)	560 円
		こども (4 歳～14 歳)	200 円
	区外	大人 (15 歳以上)	840 円
		こども (4 歳～14 歳)	300 円

(3) 利用料の減免

区分	減額割合
障害者手帳の交付を受けている者	5 割減
区内の私立小中学校等が教育目的のために利用する場合	3 割減
板橋区又は教育委員会が行政目的のために利用する場合	免除
板橋区立の小中学校及び特別支援学校が教育目的で利用する場合	免除
青少年健全育成地区委員会が教育目的で利用する場合	免除

(4) 休館日

保守点検等実施日の年間 33 日

※冬季移動教室期間を除き、からまつ棟及び屋外施設については、11 月から 3 月まで閉鎖する。

※東京都板橋区立八ヶ岳荘条例にて休業日となっている 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までは、区民の余暇活動の促進に寄与するため開館する。

(5) 食事

【料金（消費税込）】

区分	朝食	昼食	弁当 (昼食)	夕食	子ども夕食
一般利用者	630円	770 円	360円 ～ 660円	1,520円	1,000円
一般団体（移動教室・青健団体以外）	600円 (小:450円)			940円 (小:650円)	
移動教室	600円			940円	—
※青健等団体	一般利用者又は移動教室から選択			一般食又は移動教室食から選択	—

【バランスの取れた食事の提供】

以下の4点を重要項目として食事を提供する。

- ① 特別食への柔軟な対応（アレルギー・宗教上の食物制限に対応）
- ② 連泊（3泊4日）に対応した3種類のメニューによるローテーション（季節毎）
- ③ 選択できる食事の提供
 - 一般食：館内朝食の和洋2種類を家族単位で選択可能
 - 一般団体食：4～8歳を対象とした食事サイズを用意（幼稚園・保育園等）
- ④ 団体食メニューの見直し（アンケート低評価部分の改善）
 - ・管理栄養士監修のもと栄養バランスと彩りを意識したメニューへの改善
 - ・弁当について新規納入先の開拓や納入先との交渉によるメニューの改善

【食事の安全性向上に関する対策強化】

- ・アレルギー対応マニュアルの遵守及び各種工程の複数名による確認の徹底
 - ※アレルギー対応食はトレーや袋を違う色・形にするなど視覚的に工夫
 - ※アレルギー対応食の提供は料理長（料理長代理）が直接手渡し
- ・HACCP方式の衛生管理、作業管理票の活用、外部食品衛生コンサルの活用

(6) 人員体制

役職・職種	雇用形態	人数

	[REDACTED]			[REDACTED]			[REDACTED]	
	[REDACTED]			[REDACTED]			[REDACTED]	
	[REDACTED]			[REDACTED]			[REDACTED]	
	[REDACTED]			[REDACTED]			[REDACTED]	

• [REDACTED]

• [REDACTED]

(7) 研修計画

基本的研修：接遇・コンプライアンス（個人情報保護含む）・安全管理防災訓練・アレルギー対応等

事業担当者：移動教室受入れ・自然体験活動指導技術研修

外部研修：青少年教育施設協議会・環境教育関東ミーティング

(8) 委託業務

- ・日常点検と定期点検のベストミックスによる二重と点検（予防保全）
- ・業水準を上回る保守点検計画の作成

(9) 移動教室・青少年健全育成事業への協力

① 移動教室

(春季6校、秋季10校、冬季6校)の受入れ及び活動支援

② 青少年健全育成事業団体（11地区）の受入れ及び活動支援

③ 綿密な打ち合わせによる活動サポート・体験プログラムの作成

④ 食物アレルギー（宗教上の対応含む）の対応・適切な応急措置（ケガ等）

⑤ 利用者満足度（アンケート）調査、利用者（子ども含む）聞き取り調査による意見・要望の改善

(10) 広報活動等利用者拡大に向けた取組

① リーフレットの活用（八ヶ岳エリアの集客スポットでの配布）

② 自主事業の拡充による利用者拡大

③ 施設ウェブサイトの充実

④ 区内、区外のイベント出展

⑤ 八ヶ岳荘フェスティバルの開催による地元へのPR

(11) 自主事業

① 体験活動（クラフト体験、森の観察会、アウトドアクッキング体験 等）

② 宿泊イベント（初めてのテント泊・お泊り森の幼稚園・親子スキー等）

③ 日帰りイベント（八ヶ岳DE婚活・八ヶ岳フェスティバル等）

④ 移動教室・青健事業、団体向けプログラム(クラフト体験、野外活動体験 等)

⑤ 物販・貸出事業

(飲料自動販売機設置、アウトドア・アメニティ用品等、お土産※期間限定)

(12) サービス水準(指定管理業務における達成すべき下記の具体的目標値)

- ① 利用者の増加
- ② 移動教室・青少年健全育成事業の満足度
- ③ 利用者満足度

(13) 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止対策

- ・感染症予防のための手指消毒剤の設置等
- ・感染症が流行した場合は、国の方針を踏まえ教育委員会と対応方針を協議

2 令和7年度収支計画概要

(1) 収入

項 目	令和7年度計画	令和6年度計画	増 減	主な増減理由等
利用料金	円	円	円	
食事料金	円	円	円	
指定管理委託料	101,162,400 円	100,906,950 円	255,450 円	人件費単価見直しによる増
合計	円	円	円	

(2) 支出

項 目	令和7年度計画	令和6年度計画	増 減	主な増減理由等
人件費	円	円	円	
維持管理経費	円	円	円	
食材費	円	円	円	
修繕・工事費	1,000,000 円	1,000,000 円	0 円	
大型キャンパス テント購入	587,400 円	0 円	587,400 円	3年毎の更新による増
大浴場換気扇設置改修工事及 び火災通報装置電源改修経費	0 円	1,122,550 円	△1,122,550 円	
本社経費	円	円	円	
営業利益	円	円	円	
合計	円	円	円	

3 令和7年度の主な変更点

- (1) 食事メニューの改善(団体食メニューに関するアンケート低評価部分の改善)
- (2) 自主事業の拡充(教育科学館とのコラボイベントを計画)
- (3) 主な設備改修(区予算にて実施する)

- ① 団体棟壁掛扇設置
- ② 量水器口径変更

教育科学館の管理運営に関する令和7年度協定の 主な見直し概要

生涯学習課

○ 年度協定

- 1 第2条 協定期間 の更新
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
- 2 第5条 管理業務経費 の変更
令和7年度管理業務指定管理料 184,870,200 円
(令和6年度管理業務指定管理料 176,237,000 円)
※前年度から、8,633,200 円の増額
(人件費単価に見直しによる増、工事・修繕費の増)
- 第3項 管理業務指定管理料のうち、修繕・工事費金 3,500,000 円については
年度終了後、余剰金が発生した場合は、甲乙確認後、乙は甲に返還する
ものとする。
※前年度から 1,000,000 円の増額
- 第4項 管理業務指定管理料のうち、「非常用発電機配管・重油タンク清掃」に
要する経費である金 541,200 円については購入後、余剰金が発生した
場合は甲乙確認後、乙は甲に返還するものとする。
- 3 その他 年度表記の更新

○ 管理運営業務仕様書（年度協定 別紙1）

- 1 第3章 第2節 企画事業に関する業務
(P.13～14) 別表1
【内容変更】現在の事業内容に基づく事業区分の整理
※事業区分の詳細は「令和7年度教育科学館事業計画書のとおり」

(P.15～18) ●企画事業の概要
【内容変更】上記事業区分の整理に伴う各事業概要の変更
- 2 第3章 第5節 賃借（リース）物件管理業務
(P.56) 1 賃借物件
【内容変更】再リース期間の変更 R6.4.1～R7.3.31 → R7.4.1～R8.3.31

○ 令和7年度収支計画書（年度協定 別紙2）

（1）収入

項 目	金 額	備 考
プラネタリウム観覧料	■■■■■■ 円	
施設貸出使用料	■■■■■■ 円	
各種教室参加費等	■■■■■■ 円	
コンサート入場料	■■■■■■ 円	
管理業務指定管理料	184,870,200 円	
合 計 額	■■■■■■ 円	

（2）支出

項 目	金 額	備 考
人件費	■■■■■■ 円	
維持管理費	■■■■■■ 円	
事業運営費	■■■■■■ 円	
工事・修繕費	3,500,000 円	年度終了後清算
政策的改修等	541,200 円	年度終了後清算
本社経費	■■■■■■ 円	
営業利益	■■■■■■ 円	
合 計 額	■■■■■■ 円	

令和7年度教育科学館指定管理者事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 共同事業体名：CTC共同事業体

(株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー)

指定管理期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)

1 事業計画概要

(1) 施設概要

【休館日】

①月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その直後の休日以外の日)

※5月5日、7月21日、8月11日、9月15日、10月13日、11月3・24日、
1月12日、2月23日は開館

※夏休み期間中(7月22日、8月12日)、冬休み期間中(1月5日)

春休み期間中(3月30日)は開館

②12月30日から翌年1月3日まで

③臨時休館日 7月16日、7月17日、7月18日(夏休みイベント準備)

※トイレ洋式化工事等のため令和8年1月から2月にかけて1カ月程度休館予定

【開館時間】

午前9時から午後9時30分

※夜間業務等がない場合は、午後4時30分で閉館(学校夏季休業期間は午後5時)

(2) 管理運営業務

施設運営業務、受付・窓口業務、利用者へのサービス及び相談業務、緊急時の対応、
経理・庶務事務等について

(3) 人員配置計画(常勤職員)

役 職	人数	担当業務

合計		

(4) 安全管理

危機管理対策マニュアル、緊急時の対応、緊急時対策委員会の設置、訓練計画、緊急時連絡体制・緊急時館内連絡（誘導）体制について

(5) 研修計画

接遇・情報セキュリティ（個人情報保護含む）・環境マネジメント・防火管理・展示・事業運営・全国科学博物館協議会等の研修について

(6) 個人情報・情報公開の取扱い

基本方針及び具体策、具体的活動内容と留意事項について

(7) 令和7年度収支計画

①収入計画

項 目	7年度計画	6年度計画	増 減	増減理由
プラネタリウム 観覧料	円	円	円	
施設貸出使用料	円	円	円	
各種教室参加費 等	円	円	円	
プラネタリウム コンサート入場料	円	円	円	
管理業務指定管 理料	184,870,200 円	176,237,000 円	8,633,200 円	人件費単価の見直しによる増
合 計	円	円	円	

②支出計画

項 目	7年度計画	6年度計画	増 減	増減理由
人件費	円	円	円	
維持管理費	円	円	円	
事業運営費	円	円	円	
工事・修繕費	3,500,000 円	2,500,000 円	1,000,000 円	修繕案件の増加による増
政策的改修等	541,200 円	0 円	541,200 円	非常用発電機配管・重油タンク清掃

本社経費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
営業利益	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
合 計	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	

③利用料金（令和6年10月25日改正 ※令和7年4月1日以降の利用分から適用）
【貸出施設使用料】

施設 \ 利用区分	午前（午前9時～正午まで）	午後（午後1時～午後4時まで）	夜間（午後5時30分～午後9時30分まで）
研修室	2,700 円	2,700 円	5,000 円

【プラネタリウム観覧料】（現行どおり）

区 分	観覧料（1人1回につき） 消費税込	
	個 人	団 体
おとな	350 円	250 円
こども	120 円	95 円

（8）事業計画

①令和7年度の事業運営に関する基本方針（昨年度から変更なし）

＜事業コンセプト＞

「人を展示する科学館～教えてもらう科学館から気づきをもたらす科学館へ～」

＜事業目標＞

「板橋区をとりまくヒト・モノ・コトを繋ぐ」機能を多角的に強化し、学習者が主体的に新しい世界と出会い、刺激され、双方向的に学ぶ場としての存在意義を向上する

＜運営の方向性＞

教育科学館では、指定管理期間の1・2年目については認知を促進させるために積極的な事業展開を行い、3年目は教育科学館が企画の主体になるだけでなく「教育科学館が地域に対し、教育企画が発生するきっかけとなるタネをまく役割」としてアウトリーチ活動を強化した。4年目である今年度は、アウトリーチ活動を促進するとともに、これまでの展開を検証し、より効果的かつ安定した施設運営となるよう、経営資源の最適化に取り組む。

②令和7年度の重点事業

- ・地域企業／人が主体になる連携事業
- ・板橋ラーニングパーク構想の地域による運用展開開始
- ・ラボ事業への外部研究員や地域人材の招聘
- ・サポートメンバー企画の拡充

- ・サポートメンバー企画の拡充
 - ・板橋区内だけでない、よりエリアを広げた交流
- 例：地域住民が主体的に小展示やワークショップ等のイベント開催
生涯学習課が実施している「子ども未来大学」との連携

③令和7年度の事業体系（事業の実態に合わせ体系を調整）

区分	事業名	概要
1) 展示	①常設展示	常設展示の開放、解説パネルや展示物の更新
	②企画展	教育科学館ならではの、多様な人々が積極的に関わりあう、多様な体験的手法による企画展
2) STEAM・探究 科学・プログラミング教室から、上位概念である「STEAM・探求」に区分を変更し事業名を整理した。	①科学技術重点型事業	広い視点で多様な科学体験を提供するワークショップやトークショーなど
	②プログラミング／アート重点型	プログラミングやものづくりなど、広く表現をテーマとしたワークショップなど
3) ラボ事業 「ラボ事業」が科学館事業体系として定着したため区分を変更し事業名を整理した。	①館内ラボ	職員をはじめとした多様な人々の興味関心をきっかけとした研究活動と、その成果発表としてのワークショップなど
	②館外ラボ	※活動フィールドにより分類
4) プラネタリウムドーム	①レギュラー（中高生以上一般向け投影）	星空解説や宇宙・天文に関するすこし踏み込んだ内容だけでなく、分野に限らず最先端のトピックス等も扱う（生解説あるいはドームシネマ）
	②レギュラー（小学生以上の幅広い層向け投影）	①より幅広い年齢層に訴求する内容
	③レギュラー（幼児～未就学児向け投影）	プラネタリウムドーム体験の入り口となるものを提供
	④イベント型プラネタリウムドーム事業	イベントごとに多様なターゲット設定と内容（時宜的な内容、絵本や、音楽など）を実施
	⑤各種団体	未就学、小学校、中学校、高等学校、大学、一般、シニア、介護施設、市民大学等を対象として、内容をカスタマイズして実施
5) 連携事業	①移動教室	区内全小学校第4学年と、希望する中学校を対象に、科学実験と天体学習の授業を実施
	②出張ワークショップ	学校などへ出向き科学実験など実施 （GIGAタブレット活用事業含む）
	③板橋6大学連携事業	大学と連携した学生主体による区民参加型教育プロジェクト

	④地域連携／図書館連携	上板橋商店街主催のイベント・祭り、中央図書館と連携して事業を実施
	⑤市民参加／市民企画型	地域の科学技術・文化・知見などを掘り起こし、区民サービスに還元するために、地域住民などによるボランティアを募り、事業を実施
6) 広報/ブランド戦略	①各媒体による広報活動	WEB媒体や紙媒体による広報活動とデータ解析による効果検証
	②広報チャネル拡大のための活動	各メディアへの営業活動、他施設広報担当との連携活動
	③メディア露出のアーカイブ	各メディアへの記事露出のアーカイブと検証
自主事業	①特別広報活動	科学館オリジナルグッズやカプセルトイの販売など
	②特別教育活動	多様かつ幅広いニーズに対応した、さらなる学びの深まりをもたらす講座やワークショップを実施

(9) 委託業務および賃借（リース）物件管理業務

施設清掃、機械警備、環境測定、各種設備保守点検等について専門業者に委託。また、中央監視装置、プラネタリウムコンソールなど、区が契約しているリース物件についても適切に管理する。

3 令和7年度の主な変更点

(1) 事業体系の再構成

これまでの運営により、「ラボ事業」「STEAM・探求学習」が、教育科学館の事業コンセプトとして定着したことから、上位の事業概念に位置付けるとともに、事業体系を整理した。また、自主事業ではあるが、地域部活動の運営をはじめ、区役所各部門と協力して実施している事業も増加していることから、事業計画に位置付けた。

(2) 板橋ラーニングパーク構想の促進と館内実施事業を含むアウトリーチの強化

板橋区内における学びの活性化を目的とした「板橋ラーニングパーク構想」の実現に向けて、板橋6大学に協力を依頼し、教育科学館を拠点とした学生有志のプロジェクト活動を実施している。この大学と連携した活動をより広げるため、昨年度試行的に実施した「子ども未来大学」（生涯学習課事業）との事業連携を本格的に展開する。

その他、教育科学館の特徴である「ラボ事業」のアウトリーチ化や、様々な機会を活用し、地域住民らが自由に集い、多世代的に交流できる場を創出するなど、区内に学びの種を広げる取組みを強化する。

グリーンカレッジホールの管理運営に関する令和7年度協定の概要

生涯学習課

指定管理期間の始期として新たな指定管理者と協定を締結する。本資料については、前年度（前指定管理者）の年度協定から、内容の変更が生じた部分について記載している。

○ 年度協定

- 1 第2条 協定期間
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
- 2 第5条 指定管理委託料
第2項 甲が乙に払う指定管理料は、金 44,852,928 円とする。
※昨年度比で 36,928 円増
(利用料金の改定による指定管理委託料の減、駐車場新規リースによる経費の増)
※詳細は事業計画概要の「3 令和7年度収支計画概要」参照
- 3 その他 年度表記の更新

○ 管理運営業務仕様書（年度協定 別紙1）

- 1 施設管理業務の変更
駐車場管理業務について実態に合わせた文言修正
- 2 板橋グリーンカレッジ運営補助業務の追加による変更
板橋グリーンカレッジ業務【役割分担表】の変更及び付随する文言修正
※令和7年度に予定しているポータルサイト導入に関連した業務を追加
- 3 その他
軽微な文言修正や構成変更

○令和7年度収支計画概要（年度協定 別紙2）

【収 入】

項 目	金 額 円	備 考
指定管理委託料	44,852,928	
利用料収入		
合 計		

【支 出】

項 目	金 額 円	備 考
人件費		
事業運営費		
管理運営経費		
修繕・工事費	1,300,000	年度終了後清算
本社経費		
営業利益		
合 計		

令和7年度板橋区立グリーンカレッジホール指定管理事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 アクティオ・板建総共同事業体

(代表企業：アクティオ株式会社 構成企業：板橋建物総合管理共同組合)

指定管理期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

1 事業計画概要

(1) 管理運営の基本理念

施設理解と地域把握を踏まえ、民間の力・強みを最大限に活かし、施設の新しい価値を創造する。この新しい価値の創造を促進させるため、施設理解と地域把握にもとづき課題を抽出し、実施すべき対策を掲げ、PDCAサイクルを回しながら着実に管理運営の「目標」を達成する。

(2) 事業運営の方向性

- ①生涯学習・社会教育の拠点として、地域住民のつながり・コミュニティの場の提供
- ②一過性の学びではなく、互いに学び・教えあう活動を通じた喜びの創出
- ③キャリアデザインも含めた、生きていくうえで必要な知識・経験を身に付けるための学びの機会の提供

(3) 人員体制 合計 名

職 名	業務分掌	身 分

2 管理業務の概要

(1) 施設及び付帯設備貸出業務

【利用料金】

(令和6年10月25日改正 ※令和7年4月1日以降の利用分から適用)

利用区分 施設	午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 17:30~21:30
教室1	6,400円	8,400円	8,400円
教室2	2,700円	3,400円	3,400円
教室3	2,000円	2,500円	2,500円
ホール	9,000円	11,400円	11,400円
集会室1	1,300円	1,700円	1,700円
集会室2	1,300円	1,700円	1,700円

【利用料金の減免】

区分	減免する額
区が行政目的のために利用する場合	免除
区以外の官公署が行政目的のために利用する場合	5割相当額
公共的団体が公共の利益を図るために利用する場合	3割相当額
区立小中学校教育目的のために利用する場合	免除
区内の幼稚園、保育所等が教育目的又は保育目的のために利用する場合	5割相当額
区内の私立小中学校等が教育目的のために利用する場合	3割相当額
心身障がい者団体が公共の利益を図るために利用する場合	3割相当額

【休業日】

12月29日から1月3日まで

(2) 板橋グリーンカレッジ運営補助

受講生が講座に集中でき、講師が講師業務に専念できるように臨機応変にサポートし、受講生それぞれが個性と能力を最大限に発揮できる環境をと作る。

【運営補助業務の内容】

No.	内容	No.	内容
1	講座レジュメ印刷	12	苦情等の処理

3	資料等の配布、保管、整理	14	P D C Aサイクルによる業務の見直しと改善
4	案内表示の作成、ロビー、教室への掲示	15	進学者履修届の周知・取りまとめ
5	教室内、視聴覚器材等及び講師用飲料等の準備、配置、片付け等	16	発表会の運営・見学者の募集・レジュメの取りまとめ・印刷製本
6	講師対応	17	卒業レポートの取りまとめ(不備のチェック・未提出者への連絡)
7	受講者アンケート、卒業論文集原稿の預かり	18	公開講座の当日運営(受付・講師対応)
8	入学式、卒業式への支援	19	ポータルサイト運用
9	クラブ活動(自主サークル等)の育成	20	受講生へのポータルサイト操作補助(スマートフォン操作等)
10	提案事業の実施	21	システムを使った受講生管理・情報発信・問合せ対応
11	グリーンカレッジホールに関する調査・統計等の業務		

(3) 指定管理者提案事業

事業運営の方向性に基づく区民向け講座を以下のとおり実施する。

項目	事業名
地域交流・異世代間交流	地域交流コンサート(ジャズ・マリンバ・沖縄三線・吹奏楽・落語 等)
子どもの能力アップ 学びの循環と キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズイングリッシュ(ネイティブスピーカーとの交流体験) ・夏休みこども塾・サイエンスアートLabo・プログラミング ・運動能力を育てる講座(チアダンス、ヒップホップダンス 等)
サークル活動発表の 場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・GCH 周年行事(16 周年アニバーサリー発表会・作品展) ・志村図書館での作品展示会
語学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語体験教室 ・韓国語体験教室 ・英語教室①(実用英会話・経験者・前期コース) ・英語教室②(実用英会話・経験者・後期コース)

音楽・ダンスを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・フラダンス教室（初中級コース） ・ウクレレ教室（基礎コース・ステップアップコース・発表会） ・大正琴体験教室 ・仲間と楽しむダンス教室 ・盆踊り教室
スキルと教養を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・実用書道教室 ・水彩画教室（初心者コース・レベルアップコース） ・鉛筆画講座（基礎コース・ステップアップコース） ・水墨画教室（初心者コース・初中級コース・作画コース） ・折り紙教室 ・ボジャギアート（韓国ふろしきラッピングアート） ・フラワーアレンジメント（春・秋のイベント、クリスマス編） ・親子で読もう絵本講座（～ハーブの音色とともに～） ・教養美術講座（ヨーロッパ絵画を中心に）
健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・生きいき講座（IMSグループとのコラボ企画） ・イスヨガ教室 ・太極拳体験教室
中高生育成サポート	中高生オーケストラ育成

（４）施設・設備の維持管理等に関する業務

①館内設備管理業務：清掃・空調・換気ユニット設備管理運営、映像機器等管理、可動ステージ管理 等

リース物品管理業務：複写機等管理、駐車場管理

②建物設備に事故・故障・障害・誤作動その他緊急事態及びその兆候が発生した場合の速やかな対応、原状回復等の処置

③点検、検査、補修その他施設管理に関する作業の実施

④建物全体の共用施設・設備の維持管理について、日常の点検など不具合の発見や修繕の要請などの調整

⑤防火管理者の選任及び消防計画作成、機械警備による夜間の建物管理

（５）研修計画

接遇・危機管理（個人情報保護含む）・環境マネジメント・防火防災訓練・救命AED研修・館長会研修 等

（６）サービス水準

①多世代交流の促進

②地域交流の促進

③生涯学習・社会教育実践の場としての事業実施

④サークル活動の活性・活発化

⑤利用者数の増加と稼働率アップ

3 令和7年度収支計画概要

【収 入】

(円)

項 目	令和7年度	令和6年度	増 減	増減の理由等
指定管理委託料	44,852,928	44,816,000	36,928	
利用料収入				
合 計				

【支 出】

(※) 精算項目

(円)

項 目	令和7年度	令和6年度	増 減	増減の理由等
人件費				
事業運営費				
管理運営経費				
修繕・工事・備品(※)	1,300,000	1,300,000	0	
本社経費				
営業利益				
合 計				

4 令和7年度 of 主な変更点

- (1) 板橋グリーンカレッジ運営補助業務の拡充（ポータルサイトシステム導入準備）
- (2) 駐車場の新規リース
- (3) 指定管理者提案事業の内容調整（利用者満足をより高められる内容に調整）

板橋区立郷土芸能伝承館の管理運営に関する基本協定の概要

生涯学習課

第4期指定期間満了に伴い、令和6年第4回区議会定例会（令和6年12月13日本会議）にて指定された第5期指定管理者（株式会社サンワックス）と新たに「東京都板橋区立郷土芸能伝承館の管理運営に関する基本協定」（以下、「基本協定」という。）を締結する。

新たに締結する基本協定は、第4期指定期間における基本協定より以下の項目について変更したものである。

○ 基本協定

1 第3条 指定の期間 の更新

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

2 第4条 職員の配置 の変更

職員の配置体制、学芸員資格を有する職員の配置及び構成人員変更時の届出について規定する項目を追加。

3 第23条 修繕・工事費 の変更

備品購入費に関する規程を削除。

4 第43条 規程等の届出 の追加

管理運営業務に関する諸規定及び非常時体制の区への届出についての規定を追加。

5 第44条から第53条まで 条番繰り下げ

第43条の追加に伴い、順次条番を繰り下げる。

6 その他 ・甲名義変更

「板橋区長 坂本健」「東京都板橋区教育委員会」の連名に変更。

・別表3「業務責任分担」

指定事業及び自主事業の項目を追加。

・「サービス水準書」

指定期間のサービス水準に「新規団体登録数」、「指定事業の実施」の項目を追加。また、各年度の目標値を新たに設定。

・文言整理

郷土芸能伝承館の管理運営に関する令和7年度協定の
主な見直し概要

生涯学習課

○ 年度協定

1 第2条 協定期間 の更新

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

2 第4条 事業計画書等 の変更

第1項 第6号「(6) 指定事業に関すること」を追加。また、第6号の追加にともない、第7号から第13号まで順次項番を繰り下げ。

3 第5条 指定管理料 の変更

第1項 令和7年度管理業務指定管理料 21,042,000 円
(令和6年度管理業務指定管理料 21,458,170 円)

前年度から 416,170 円減

(人件費、事業運営費、通信費、印刷費、修繕・工事費ほかの増、
Wi-Fi 初期設定費、Wi-Fi 回線費、太鼓修繕費、リース費ほかの減)

※詳細は事業計画概要の「3 令和7年度収支計画概要」参照

第2項 令和7年度修繕・工事費 1,000,000 円
(令和6年度修繕・工事費 858,000 円)

第3項 令和7年度太鼓修繕費 447,370 円
(令和6年度太鼓修繕費 491,370 円)

第4項 令和7年度手話通訳等派遣費用 26,000 円

4 その他 ・年度表記の更新

・別記1「板橋区立郷土芸能伝承館管理業務の細目」
指定事業の項目を追加。

・別記2「指定管理料内訳書」
内訳金額を変更。

・文言整理

○ 収支計画書

(1) 収入

項 目	金 額	備 考
指定管理料	21,042,000 円	
施設利用料収入	円	
事業収入	円	
合 計 額	円	

(2) 支出

項 目	金 額	備 考
人件費	円	
事業運営費	円	うち手話通訳等派遣費用は年度終了後清算
管理運営経費	円	
修繕・工事費	1,000,000 円	年度終了後清算
太鼓修繕費	447,370 円	年度終了後清算
本社経費	円	
営業利益	円	
合 計 額	円	

令和7年度板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者事業計画概要

生涯学習課

指定管理者 株式会社サンワックス

指定管理期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

1 事業計画概要

（1）管理運営の基本方針

- ① 公共性・公平性の確保
- ② 安心・安全の徹底
- ③ きめ細やかな対応
- ④ 民間ならではのノウハウの発揮
- ⑤ 地域との連携

（2）指定事業の実施

- ① 郷土芸能公開事業（11月実施）
- ② 室礼教室事業（6月・10月実施）

（3）施設利用料（令和6年10月25日改正 ※令和7年4月1日以降の利用分から適用）

利用区分 施 設	午 前 9:00～12:00	午 後 13:00～16:30	夜 間 17:30～21:30
芸能練習室	2,400 円	2,800 円	2,800 円
集会室	3,100 円	3,400 円	3,400 円

（4）休業日

- ① 毎月第3月曜日（祝日にあたる場合はその直後の休日以外の日）
- ② 12月29日から1月3日まで

（5）利用料の減免（現行のとおり）

区 分	減免割合
区が行政目的のために利用する場合	免 除
区以外の官公庁が行政目的のために利用する場合	5 割減
公共的団体が公共の利益を図るために利用する場合	3 割減
区立小中学校が教育目的のために利用	免 除
区内の幼稚園、保育所等が教育又は保育目的のために利用する場合	5 割減
区内の私立小中学校等が教育目的のために利用する場合	3 割減
心身障がい者団体が公共の利益を図るために利用する場合	3 割減
板橋区文化財保護条例に規定する無形民俗文化財のうち民俗芸能の保持団体又は無形文化財の保持者若しくは団体が芸能を保存し、又は伝承する目的のために利用する場合	免 除

(6) 人員配置

[Redacted]		
役職・職種	雇用形態	人 数
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]人
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]人
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]人
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]人
合 計		[Redacted]人

(7) 職員研修

個人情報保護研修、防災訓練、危機管理研修、接客・接遇研修、コンプライアンス研修、人権研修、環境マネジメント研修、郷土芸能勉強会

(8) 委託業務

定期清掃、空調設備保守点検、換気設備保守点検、害虫駆除、植栽剪定、排水設備清掃、建築設備定期点検、自動ドア保守点検、消防設備点検、機械警備業務を専門業者に委託

(9) サービス水準

指定期間内に達成すべき具体的目標と各年度の目標内訳を定めたサービス水準を設定

	具体的な目標	サービス水準		目標値	令和7年
1	登録団体数の増加	施設	新規団体登録数	1 団体/年	1 団体
2	利用者の増加	施設	施設利用率	44%	40%
3	自主事業の実施による地域文化活動の発展への貢献	自主事業	開催回数	15 回	14 回
4	指定事業の実施	指定事業	満足度	80%	75%
5	施設認知度の向上	ホームページ・Twitter	情報発信件数	135 件	130 件
6	施設の予防保全と安全管理	自社による設備一斉点検	実施回数	4 回/年	4 回
7	スタッフによる快適なサービス提供	研修・郷土芸能勉強会	実施回数	8 回/年	8 回
8	施設利用者の満足度の向上	利用者アンケート	総合満足度	91.3%	91.1%
9	地域・利用団体と連携した防災訓練の実施	防災訓練	実施回数	2 回/年	2 回
10	地域行事への参加	地域行事	参加回数	4 回	4 回

(10) 利用団体に関する事業

- ① 利用者懇談会
- ② 利用団体発表会（3月実施）

2 自主事業計画概要

(1) 令和7年度自主事業計画

No.	実施月	事業名	対象者	募集人員	参加料
1	4	郷土芸能上映会	一般	15 人	無料
2	4	旧粕谷家住宅季節の飾りつけ(五月人形)	—	—	—
3	5	折り紙教室	小学生～一般	20 人	1,800 円
4	6	水引講座	小学生～一般	12 人	1,500 円
5	7	伝承館アフタヌーン・コンサート	小学生～一般	40 人	1,000 円
6	9	はじめての和楽器体験会	小学生～一般	20 人	無料
7	10	旧粕谷家住宅見学会	一般	15 人	200 円
8	11	旧粕谷家住宅との連携事業 折り紙教室	小学生～一般	20 人	1,800 円
9	12	郷土芸能上映会	一般	15 人	無料
10	1	和太鼓体験&見学会	小学生	10 人	200 円
11	2	郷土芸能講座	一般	20 人	無料
12	2	旧粕谷家住宅との連携事業 折り紙教室	小学生～一般	20 人	1,800 円
13	2	旧粕谷家住宅との連携事業 繭玉工作	小学生～一般	20 人	800 円
14	2	旧粕谷家住宅季節の飾りつけ(雛人形)	—	—	—

※参加状況により事業内容と開催を見直す場合があります。

3 令和7年度収支計画概要

(1) 収入

項 目	令和7年度	令和6年度	増 減	主な増減理由等
指定管理料	21,042,000 円	21,458,170 円	△416,170 円	人件費の増、Wi-Fi 関連経費等の減
利用料金収入	■ 円	■ 円	■ 円	
事業収入	■ 円	■ 円	■ 円	
合 計	■ 円	■ 円	■ 円	

(2) 支出

項 目	令和7年度	令和6年度	増 減	増減の理由等
人件費	■ 円	■ 円	■ 円	
事業運営費	■ 円	■ 円	■ 円	■ ■ ■
管理運営経費	■ 円	■ 円	■ 円	
修繕・工事費	1,000,000 円	858,000 円	142,000 円	※清算項目
太鼓修繕費	447,370 円	491,370 円	△44,000 円	※清算項目
Wi-Fi 初期設定費	0 円	1,300,000 円	△1,300,000 円	※清算項目

本社経費	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
営業利益	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	
合 計	■■■■■ 円	■■■■■ 円	■■■■■ 円	

4 令和7年度の主な変更点

- (1) 指定事業に関する事項を追加。
- (2) 施設利用料の改正にともない新料金に変更。
- (3) 学芸員資格を有する職員の配置計画を追加。
- (4) サービス水準書に基づき令和7年度目標に変更。
- (5) 収支計画に指定事業にともなう事業収入及び事業運営費を追加。
- (6) 自主事業の拡充（旧粕谷家住宅との連携事業）